

班構成

		班編成	災害時の役割	平常時の役割
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">会長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; text-align: center;">副会長</div>	情報班	●被害状況の収集 ●会長への報告 ●住民への情報提供	●情報収集や伝達機器の点検 ●広報活動	
	消火班	●初期消火活動の指示、実施	●出火防止の呼びかけ ●消火器具の点検	
	救出・救護班	●負傷者の救出、搬送 ●応急救護活動	●救出救護用品の整備、点検	
	避難誘導班	●避難誘導活動 ●要配慮者への避難支援	●避難場所や避難経路の確認 ●避難誘導器具点検	
	給食・給水班	●食料、飲料水配分 ●炊き出しなどの給食給水活動	●給食活動用の調理器具などの整備点検 ●備蓄食料などの整備	

取り組み

各地域の自主防災組織では、災害時に備えて、地域住民だけでなく地元消防団や役員職員による訓練や講習なども行っています。地域を守るためにも、まず自分の命を守ることが最優先。積極的に参加し防災力を身につけましょう。

●自主防災組織中心の訓練

- ・災害時避難訓練
- ・避難行動要支援者支援、「黄色い旗」を使用した避難訓練

●町職員による講習

- ・地区防災マップの作成
- ・防災資機材の動作確認
- ・炊き出し訓練 など

●地元消防団による訓練

- ・消火訓練（消火器の使用・消火栓放水練習など）

●県職員による講習

- ・町の防災対策などについての講習
- ・災害対応ゲーム「クロスロード」
- ・さいちゃんの災害避難ゲーム

●出張！県政おはなし講座／県職員による防災講習

- ・出張！減災教室／県委託業者による地震体験車の乗車や防災講習

防災士ってどんな人？

「防災士」には、社会のさまざまな場で、減災と防災力向上のための活動が期待されます。そのために十分な意識・知識・技能を有する者として、NPO 法人日本防災士機構が認定した人たちです。

取得には、和歌山県主催の地域防災リーダー育成講座「紀の国防災人づくり塾」などの受講、認定試験が必要です。

防災士には家庭・職場・地域のさまざまな場で次のような活躍が期待されています。

- ・災害時、公的支援が到着するまでの被害の拡大の軽減
- ・災害発生後の被災者支援の活動
- ・平常時の防災意識の啓発、自助・共助活動の訓練

現在、有田川町には99人の資格取得者がいます。自分の命や財産、地域を守るために防災について学んでみませんか。

有田川町では、資格取得後に自主防災組織や町内会などで活動する方へ、講座受講料などを補助する制度を設けています。

●防災士育成事業補助金

NPO法人日本防災士機構の認める防災士の資格取得に要した費用を補助します。

- ・補助額／全額（上限1万円）
- ・お問い合わせ先／総務課（吉備庁舎）

